

温小4年生と6年生 森林公園でかたくりの種移植

6月29日、総合学習の取り組みとして、洞爺湖温泉小学校の児童が、月浦にある森林公園で、昨年に引き続きかたくりの種を植えました。

当日参加したのは、4年生12人と6年生23人。佐藤征男さん（月浦区）の指導の下、かたくりの種10粒ほど入れたポットを350個ほど移植しました。

花を咲かすのに6年～7年かかるといわれるかたくり。群生地となった将来を夢見ながら一生懸命作業していました。



かたくりの群生地を夢見て移植する小学生

ヘイケボタルの幼虫500匹 小学生らが高砂地区の沼地に放流

6月26日洞爺青年会議所（猪股重樹理事長）が主催して、ホタルの放流会が、入江高砂貝塚の高砂地区にある沼地で行われました。

自然保護への関心を高めてもらおうと日本環境協会藤本倫子基金の助成を受けて初めて企画したもので、当日は、虻田、豊浦、大滝3町村から6小学校の児童約80人が参加しました。

2cm前後に育ったヘイケボタルの幼虫を紙コップに入れ、約500匹を放流しました。児童たちは、一カ月後の観察会を楽



成虫になるのを楽しみに放流する小学生

しみにしていました。

まちのわだい

人形劇サークル「チボリーノ」 結成20周年記念公演

結成20周年を迎えた人形劇サークル「チボリーノ」（佐藤幸江代表）が、温泉、本町の両地区で結成記念の公演を行います。



人形劇を熱演するメンバーのみなさん

7月9日母と子の館で行った公演は、本町、入江の保育所の園児達約50人が参加し、紙芝居「ちよびげライオン」と「まほうつかいバーバーヤガー」の2本立て。

魔法使いにかわいい女の子が、食べられそうになる、怖いお話に園児達も夢中になって聞き入っていました。

チボリーノの皆さんは、「この20年は、母親として成長してきた証のようなもの。よくがんばってきたものです」と結成当時を振り返っていました。

入江の馬頭観世音碑建立200年 今年も慰霊式挙行政



愛馬を偲んで焼香する出席者

今年建立200年を迎えた入江の馬頭観世音碑の前で、7月5日「馬頭観世音慰霊式」

が、同保存協賛会の皆さんや関係者約40人が出席して行われました。

当日は、読経が続く中、出席者の皆さん一人ひとりが、活躍してくれた愛馬を偲び焼香を行いました。

供養の後、代々この碑を守ってきた亮昌寺の笠谷住職は「町内に現存するものではないだろうか。郷土の遺産として大切にしていきたい」と話され、出席者一同歴史の重みを改めてかみ締めていました。